



忍路

教育目標

かしこく
やさしく
たくましく

令和6年12月24日
忍路中央小学校
忍路中学校
学校だより9号



忍路教育所から150年

校長 本庄 有希子

先日、小樽市長迫俊哉様をはじめ多くの来賓の方にご臨席頂き、忍路中央小学校創立150周年記念式典を行うことができました。この記念事業の遂行のために様々なご尽力を頂きました実行委員会をはじめ、同窓会、PTAの皆様にご心よりお礼申し上げます。

記念式典式辞の中でも話をしたのですが、忍路中央小学校は明治7年に「忍路教育所」として創立されました。当時、鯨漁の黄金時代で、教育に熱心な人たちによって誘致され、子どもは20数名でした。そこでは読み・書き・ソロバンが学ばれていましたが、先生がいつも子どものそばにいたわけではなく、大きい子どもが、小さい子どもの面倒をみながら、自分で学び、自分で学習を進めていたそうです。それから150年の年月が立ち、時代は変わりましたが、本校は「自力で考え課題解決に努力する学びに向かう力を備えた子」「自分も相手も思いやり、よりよい学校をつくろうとする子」を目指す子ども像としており、小中運動会などの行事や体育などの授業、児童会生徒会活動など様々な場面で、小学生と中学生の交流が行われ、子どもたちは互いを尊重し、高め合いながら成長しています。

さて、小樽市では11月～12月を「いじめ防止強調期間」として、いじめ防止に対する様々な取組を行いました。本校でも、標語の取組では、小学校6年生児童の作品『認めよう 一人ひとりの もつ個性』は後志管内の「絆づくりメッセージコンクール」で最優秀賞を受賞しました。また、児童会生徒会が中心となり、いじめ防止サミットを実施し「ありがとう集め」をしました。中学校では「〇〇さんが体育の授業の時バスケットゴールの上げ下げを手伝ってくれた」「目標が思いつかなかったとき〇〇さんが一緒に考えてくれた」「〇〇さんが黒板をきれいにしてくれてとても使いやすかった」といった感謝の言葉、小学校では「机にあげたイスが落ちた時に、みんなが「大丈夫?」と言ってくれた」「いろいろな荷物を持っていてドアを開けられなかったとき、開けてくれた」「僕が困っているときに助けてくれた」などのたくさんの「ありがとう」を仲間を送っていました。

忍路小中学校では「ありがとう」や「うれしかったこと」があふれています。それはお互いを尊重し、思いやりの心を持って、支えあいながら生活をしているからです。150年前、一人ひとりの個性を認め、互いを尊重し、高め合いながら成長していく、忍路教育所で育まれたこの精神を大切に守っていきたいと思います。



校舎前景（創立当時）

小学校 150周年記念式典

12月7日(土)、小樽市長 迫俊哉様、小樽市議会議長 鈴木喜明様、小樽市教育委員会教育長 中島正人様、小樽市PTA連合会会長 倉本賢雄様をはじめ、多くのご来賓の方々のご臨席を頂き、小樽市立忍路中央小学校創立150周年記念式典を挙げていただきました。

忍路中央小学校は明治7年7月に、「忍路教育所」として創立され、その後、小樽量徳学校忍路分校、忍路学校と改称されていき、明治18年に開校した蘭島小学校と昭和11年に併合し、現在の場所に校舎が建設され、忍路中央小学校となりました。

当日は、児童生徒たちの頑張りが見られ、児童代表の挨拶も素晴らしい内容でした。来賓の皆様からも「素晴らしい式だった」とお褒めのお言葉を数多くいただきました。記念事業のために様々なご尽力を頂きました実行委員会をはじめ、同窓会、PTAの皆様、本当にありがとうございました。



小中 地域学習発表会

創立150周年記念式典の後、地域学習発表会が行われ、今年度のテーマである「忍路・蘭島の史跡・文化財」について発表しました。小学生は忍路・蘭島の街や忍路中央小学校の校舎の歴史、昔の忍路・蘭島、観音坂や忍路神社、忍路環状列石についてなど、それぞれの児童が興味を持ったことを仮説を立て検証したり、パンフレットを作ったりしていました。中学生は、実際に土器を作った様子、環状列石を見学に行った体験も交え、縄文人の生活や文化についての発表をしていました。子どもたちは改めて地域の良さについて学習する機会となりました。



小中 ブックフェスティバル

本校では、本に親しみを持ってもらうために、読み聞かせや、ポップ制作など様々な取組を行っています。12月13日(金)は市立小樽図書館にご協力頂き、ブックフェスティバルを行いました。市立図書館から持ってきて頂いた、800冊の本を体育館一面に並べ、児童生徒たちは、猫の本、プラモデルの本、お寿司の本など興味のある本を目にすることができ、またたくさん借りることができました。いい本との出会いは、人生を豊かにします。これからも素敵な本にたくさん出会って欲しいと思います。



小中 安全教育

本校では、子どもへの安全教育の充実として、防犯教室、情報モラル教室を行い、危機管理への意識を高めています。

12月11日(水)、小学校では、今年度2回目となる情報モラル教室を小樽警察署の生活安全課の職員に来て頂き、学年を分けて行いました。SNSの危険性についての話の後、危険な目に合わないために「夜の利用時間を決める」、「ルールをやぶったら使わない」など、家庭でのルール作りが大切であるというお話しが講師の方からありました。

翌日の12日(木)には、不審者が校舎に侵入したという設定で、防犯教室を行いました。小樽警察署の方が不審者役となり、教職員が不審者を取り押さえるまでの間、児童生徒が安全な場所に避難するという本番さながらの訓練でした。子どもたちへの防犯教室では「いか・の・お・す・し」について、改めてお話がありました。市内でも不審者の出没が続いていることから、ご家庭でも登下校の安全指導についてお話しください。

